

Casting Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

第85期

事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで



Ahresty

株式会社 アーレスティ

証券コード:5852



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research(研究・開発)、Service(サービス)、Technology(技術)において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

【a:resti】

これからは、より質の高い
Research, Service, Technology を
追求していきます。

アーレステイはR・S・T、Research、Service、
Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、
Rは単に研究・開発だけでなく、
どうしたらもっとお客様のお役にたてるかの創意と探求、
Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、
お客様とのすべての接点で、
そしてTはこのRとSをささえる知識と
技術を考えています。
この社名に込められた企業理念を大切に生かし、
様々な製品を通して、
広く社会のお役に立ちたいと願っております。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
VISION	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
営業の概況	5
事業別の概況	6
貸借対照表(連結)	7
損益計算書(連結)	8
貸借対照表(単体)	9
損益計算書(単体)	10
利益処分	10
トピックス	11
株式情報	12
会社の概要	13
役員	13
株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第85期(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいる所存です。
株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役社長

高橋 新

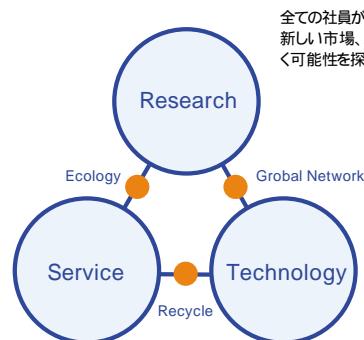
常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

(1) 経営の基本方針

アーレステイはR・S・T、Research、Service、Technology、これらは三つの言葉の統合ですが「R」は単に研究・開発だけではなく、どうしたらもっとお客様のお役に立てるかの創意と探求、「S」は製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点で、「T」はこのRとSを支える知識と技術を考えております。私たちは常に、より品質の高いResearch、Service、Technologyを追求してまいります。

2005年に新しく策定した「アーレステイ10年ビジョン」では「『すべてのステークホルダーから信頼される企業』をめざす」ことを基本の方針とし、顧客・株主/投資家・従業員・取引先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるためにはどうすべきかという観点で、あるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。この10年ビジョンをベースに中期経営方針(0507 3カ年アーレステイ方針)では、より具

体的な施策・目標値を設定し、更に部門方針へと展開して全社的な方針管理活動を推進してまいります。



全ての社員が独創的な技術を持ち、新しい市場、新しい販売方法まで、広く可能性を探り続けます。

お客様の気持ちになってモノを考え製品を生み出すこと。それがアーレステイのサービスの基本です。

全てのスタッフ一人ひとりが、お客様の要望に真剣に取り組むことからノウハウを積み重ね、独自の技術を生み出しています。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとする全てのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ子会社の事業活動に

ついても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

環境方針

かけがえのない地球を守るのは私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取り組みをご紹介致します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地域環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
- 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を遵守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
- 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
 大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 廃棄物の再資源化100%を維持します。
 廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 CO2排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 環境に配慮した製品及び商品の開発・設計に取組みます。
- 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的にを行います。
- 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。
 ~ 私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします ~

営業の概況

企業集団の営業の経過および成果

当営業年度におけるわが国の経済は、原油価格の高騰、鉄鋼を始めとする原材料価格の上昇による影響が懸念される中、国内においては、個人消費・設備投資・住宅投資といった民間国内需要が拡大して景気は回復基調を続けました。海外においては、米国・アジア地域の景気は順調に推移し回復基調にありました。

このような状況の中で、当社グループは、積極的な売上げ拡大と国内外の工場部門における設備増強、間接部門の経費削減を進めて参りました。

この結果、当営業年度の業績は、売上高は前期に比べ5.8%増加し1,016億9百万円となりました。収益面は、前期に比べ経常利益は15.5%増加し56億9千9百万円、当期純利益につきましても63.3%増加し37億9千6百万円となりました。

事業別売上の状況

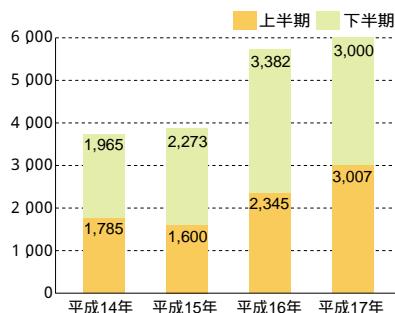


ダイカスト	92,306百万円
アルミニウム	5,007百万円
完成品	4,295百万円

業績の推移(連結)

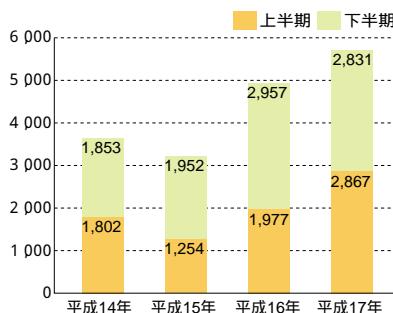
営業利益

(単位:百万円)



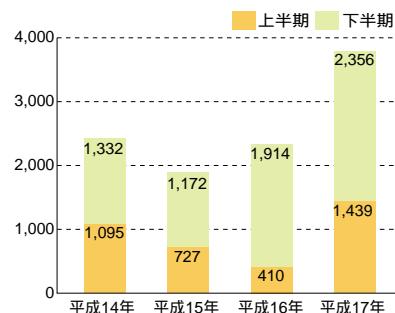
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



事業別の概況

ダイカスト事業

当事業の売上高は、前期に比べ7.7%増加し、923億6百万円となりました。

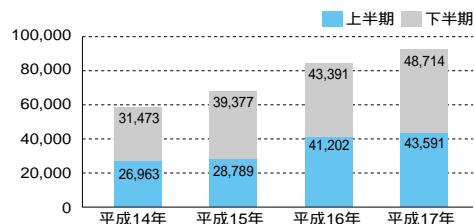
当社の主力製品である四輪部品は、新規品の立ち上がりならびに好調を維持している自動車各社の輸出に支えられ9.1%の増加となりました。二輪部品につきましては、国内需要の回復に伴う二輪メーカー各社の生産増に伴い18.3%の増加となりました。汎用エンジン部品につきましても、メーカー各社でのばらつきはあるものの総じて好調に推移し5.0%の増加となりました。

収益面においては、生産性の改善を始めとする原価低減活動等を積極的に進めてまいりました。

この結果、営業利益は前期に比べ6.6%増加し、55億8百万円となりました。

売上高(連結)

(単位:百万円)



アルミニウム事業

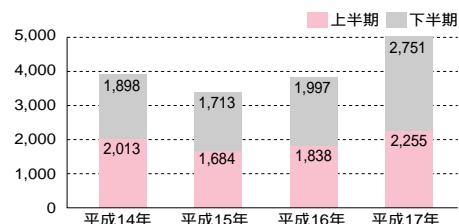
当事業の売上高は、前期に比べ30.6%増加し、50億7百万円となりました。

主な増加要因といたしましては、営業戦略の見直しによる販売重量の増加、下期地金価格の高騰に伴う、販売価格上昇の影響などによります。

収益面においては、生産性の改善を進めましたが、重油価格の上昇、原料価格の高騰により、営業利益は前期に比べ9.7%の増加にとどまり、2億3千4百万円となりました。

売上高(連結)

(単位:百万円)



完成品事業

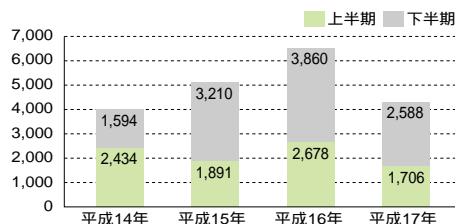
当事業の売上高は、前期に比べ34.3%減少し、42億9千5百万円となりました。

主力商品である建材は、半導体・液晶関連の設備投資が落ち込み、またOA市場も落ち込んだため、フリーアクセスフロアの出荷量が前期に比べ9.8%減少し、売上高は前期に比べ34.5%減少し、41億4千万円となりました。

園芸用品は、上期で園芸事業からの撤退を決めました。その関係で売上高は前期に比べ25.4%減少し、1億5千5百万円となりました。収益面においては、建材製品の収益改善を進められた結果、営業利益率は上昇しましたが、売上高の減少により営業利益は前期に比べ23.7%減少し、2億6千6百万円となりました。

売上高(連結)

(単位:百万円)



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在		平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流 動 資 産	37,560	34,924	流 動 負 債	33,918	32,650
現金及び預金	3,128	2,604	支払手形及び買掛金	22,196	19,491
受取手形及び売掛金	24,130	22,914	短 期 借 入 金	4,405	4,186
た な 卸 資 産	8,247	7,763	1年以内返済予定の長期借入金	1,210	2,398
繰延税金資産	961	866	未 払 法 人 税 等	1,167	1,913
そ の 他	1,095	777	未 払 費 用	1,246	1,077
貸倒引当金	3	3	賞 与 引 当 金	1,208	1,141
			そ の 他	2,482	2,441
固 定 資 産	43,550	32,623	固 定 負 債	13,191	13,072
有形固定資産	31,617	24,308	社 債	1,000	1,000
建物及び構築物	6,795	6,128	長 期 借 入 金	6,264	6,630
機械装置及び運搬具	12,496	10,945	繰延税金負債	2,153	1,418
工具器具備品	2,648	2,658	退職給付引当金	2,279	2,296
土 地	5,364	2,918	役員退職慰労引当金	198	143
建設仮勘定	4,311	1,657	連結調整勘定	1,194	1,528
			そ の 他	99	54
無形固定資産	998	1,142	負 債 合 計	47,109	45,722
ソフトウェア	357	341	少数株主持分		
連結調整勘定	600	757	少 数 株 主 持 分	101	98
そ の 他	40	42			
投資その他の資産	10,934	7,173	資本の部		
投資有価証券	9,924	6,185	資 本 金	5,117	1,691
長期貸付金	1	27	資 本 剰 余 金	5,065	1,253
繰延税金資産	412	447	利 益 剰 余 金	21,477	17,968
そ の 他	602	525	その他有価証券評価差額金	2,725	1,762
貸倒引当金	5	12	為替換算調整勘定	432	906
			自 己 株 式	54	41
資 産 合 計	81,111	67,548	資 本 合 計	33,900	21,727
			負債、少数株主持分及び資本合計	81,111	67,548

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目		当 期	前 期
		平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
経常損益の部	営業収益		
	売上高	101,609	94,967
	営業費用		
	売上原価	87,596	81,745
	販売費及び一般管理費	8,005	7,493
	営業利益	6,008	5,728
	営業外収益	1,101	580
	受取利息及び受取配当金	82	87
	その他営業外収益	1,018	492
	営業外費用	1,410	1,373
特別損益の部	支払利息	247	301
	その他営業外費用	1,162	1,072
	経常利益	5,699	4,935
	特別利益	707	2,461
	固定資産売却益	17	1,069
	投資有価証券売却益	668	1,286
	その他特別利益	20	105
特別損失	432	1,093	
固定資産除売却損	269	226	
減損損失	—	774	
その他特別損失	162	92	
	税金等調整前当期純利益	5,974	6,302
	法人税、住民税及び事業税	2,213	2,735
	法人税等調整額	58	32
	少数株主利益	21	1,209
	当期純利益	3,796	2,325

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

単体貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在		平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流 動 資 産	33,375	30,159	流 動 負 債	30,361	30,887
現金及び預金	2,317	1,761	支払手形	10,280	9,812
受取手形	2,872	4,042	買掛金	8,733	7,477
売掛金	19,498	17,087	短期借入金	3,100	4,130
製品	1,342	1,531	1年以内返済予定長期借入金	930	2,030
原材料	1,160	912	未払金	741	413
仕掛品	2,405	2,556	未払費用	385	335
貯蔵品	220	187	未払法人税等	928	480
前渡金	34	395	未払消費税等	19	108
前払費用	13	6	前受金	31	143
繰延税金資産	529	363	預り金	3,977	4,878
短期貸付金	1,604	324	前受収益	0	3
未収入金	1,375	994	賞与引当金	809	720
その他の	0	3	設備関係支払手形	424	348
貸倒引当金	0	6	その他	0	6
固 定 資 産	29,681	23,187	固 定 負 債	9,092	8,757
有形固定資産	11,295	8,093	社 債	1,000	1,000
建 物	1,846	1,892	長 期 借 入 金	4,477	4,737
構 築 物	182	175	繰 延 税 金 負 債	1,577	1,007
機 械 及 び 装 置	3,119	2,632	退 職 給 付 引 当 金	1,883	1,869
車 両 運 搬 具	28	53	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	154	143
工 具 器 具 備 品	1,542	1,509	負 債 合 計	39,453	39,645
土 地	3,563	1,244	資本の部		
建 設 仮 勘 定	1,012	584	資 本	5,117	1,691
無形固定資産	296	289	資 本 剰 余 金	4,942	1,129
電 話 加 入 権	14	14	資 本 準 備 金	4,942	1,129
ソ フ ト ウ ェ ア	269	256	利 益 剰 余 金	10,872	9,157
ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定	12	17	利 益 準 備 金	393	393
そ の 他	0	0	任 意 積 立 金	8,044	7,252
投資その他の資産	18,089	14,804	配 当 準 備 積 立 金	120	120
投 資 有 価 証 券	6,453	5,082	買 換 資 産 圧 縮 積 立 金	467	275
子 会 社 株 式	11,157	9,209	固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	5	6
長 期 貸 付 金	1	27	特 別 償 却 準 備 金	7	10
長 期 前 払 費 用	23	12	買 換 資 産 圧 縮 特 別 勘 定 積 立 金	305	-
長 期 未 収 入 金	73	-	別 途 積 立 金	7,140	6,840
そ の 他	385	483	当 期 未 処 分 利 益	2,433	1,511
貸 倒 引 当 金	4	10	株 式 等 評 価 差 額 金	2,715	1,758
			自 己 株 式	44	35
資 産 合 計	63,057	53,346	資 本 合 計	23,603	13,701
			負 債 及 び 資 本 合 計	63,057	53,346

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
営業収益の部		
営業収益		
売上高	87,355	82,895
営業費用の部		
営業費用		
売上原価	79,085	75,034
販売費及び一般管理費	5,421	5,245
営業利益	2,848	2,614
営業外収益の部		
営業外収益	759	553
受取利息及び配当金	244	157
その他営業外収益	514	396
営業外費用の部		
営業外費用	972	997
支払利息	137	187
その他営業外費用	834	810
経常利益	2,635	2,171
特別損益の部		
特別利益	686	1,071
固定資産売却益	2	1,067
投資有価証券売却益	668	-
その他特別利益	14	3
特別損失	149	238
固定資産除売却損	144	126
減損損失	-	21
その他特別損失	3	90
税引前当期純利益	3,171	3,003
法人税、住民税及び事業税	1,433	882
法人税等調整額	246	317
当期純利益	1,984	1,803

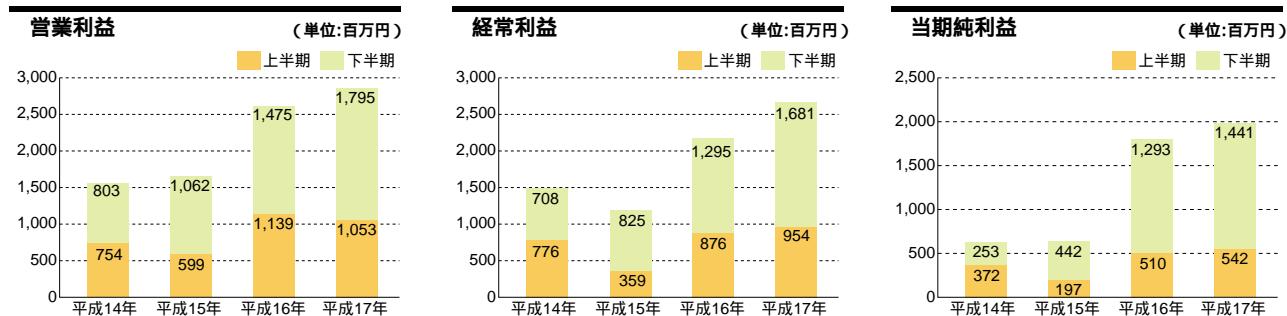
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位：円)

摘 要	金 額
当期末処分利益	2,433,991,443
買換資産圧縮積立金取崩額	29,249,805
固定資産圧縮積立金取崩額	974,480
特別償却準備金取崩額	3,216,120
買換資産圧縮特別勘定積立金取崩額	305,153,195
合 計	2,772,585,043
これを次のとおり処分します。	
株 主 配 当 金	371,357,874
1株につき普通配当18円	
役 員 賞 与 金	30,000,000
(うち監査役賞与金)	(1,500,000)
買換資産圧縮積立金	267,401,539
別 途 積 立 金	1,100,000,000
合 計	1,768,759,413
次 期 繰 越 利 益	1,003,825,630

業績の推移(単体)



トピックス

Topics

平成18年2月に、豊橋工場近隣の土地・建物を新規に取得しました。

豊橋工場の再開発と合わせて、中部地区の顧客の需要に対応できる生産体制の増強と効率的な生産モデルを構築してまいります。
また、同敷地内にテクニカルセンターを併設して、設計・技術部門を集約し研究開発・技術開発の効率化を図って参ります。



写真左手の建物がテクニカルセンター、右手の建物が豊橋工場プロダクトセンター



工場入口から見たテクニカルセンター



取得した土地、建物周辺の航空写真

株式情報

Stock Information

株式状況 (平成18年3月31日現在)

株式数および株主数

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式総数	20,660,670株
株主数	4,069名

大株主 (上位10名)

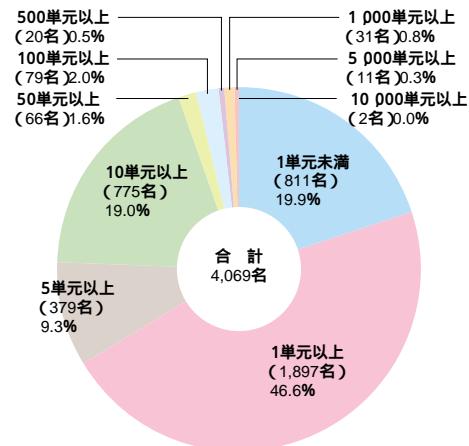
株主名	持株数(株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	1,427,300
高橋利江	1,075,647
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	958,100
株式会社三菱東京UFJ銀行	765,955
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505019	722,300
本田技研工業株式会社	672,755
日本軽金属株式会社	657,392
スズキ株式会社	565,767
指定単受託者三井アセット信託銀行株式会社1口	560,300
株式会社みずほコーポレート銀行	544,375

地域別株主分布図

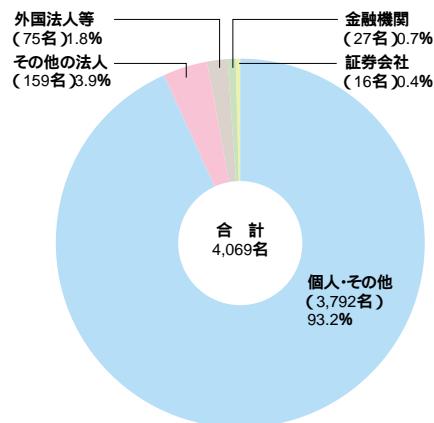


株式の分布状況

所有株数別株主分布



所有者数別株主分布



会社の概要

Corporate Information

会社概要 (平成18年3月31日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	51億1,759万円
会社が発行する株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	20,660,670株
株主数	4,069名
従業員数	950名

企業集団の従業員の状況

	従業員数
ダイカスト事業	2,412名
アルミニウム事業	41名
完成品事業	38名
全社(共通)	131名
計	2,622名

取締役および監査役の氏名 (平成18年6月23日現在)

取締役社長	高橋新
取締役	平等佳男
取締役	小木旭
取締役	林禎一
取締役	古屋茂
取締役	石山喬
常勤監査役	宇野信夫
常勤監査役	熊木勉
監査役	大崎巖男
監査役	早乙女唯夫

事業拠点一覧 (平成18年6月23日現在)

当本社工場

名称	所在地
本社	〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1
東松山工場	〒335-0812 埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
熊谷工場	〒360-8543 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原284-11
浜松工場	〒433-8520 静岡県浜松市小豆餅4-14-1
豊橋工場	〒441-3153 愛知県豊橋市二川町字東向山80番地

当社営業所

名称	所在地
関東営業所	〒105-0003 東京都港区西新橋2-39-3
埼玉営業所	〒355-0812 埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
浜松営業所	〒433-8113 静岡県浜松市小豆餅4-14-1
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-23-26
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-13-6
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町5-43-14
栃木営業所	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
名古屋営業所	〒446-0054 愛知県安城市二本木町切替7-2
熊本営業所	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36

子法人等

名称	所在地
(株)アーレスティ栃木	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
(株)アーレスティ熊本	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36
(株)アーレスティ ダイヤモンド浜松	〒433-1104 静岡県浜松市桜台5-3-10
アーレスティ ウィルミントンCORP.	2627 S.South Street, Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.
(株)アーレスティ山形	〒992-0832 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120 - 232 - 711(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所
公告掲載URL	http://www.ahresty.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

平成18年6月開催の定時株主総会の定款変更による用語改訂を反映致しました。

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120 - 244 479(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)
0120 - 684 479(三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) } 通話料無料

インターネットアドレス <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



当社ホームページ

<http://www.ahresty.co.jp/>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

Research Service Technology

株式会社 **アーレスティ**

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F

TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037

URL. <http://www.ahresty.co.jp>



古紙配合率100%を使用しています。



本誌は大豆油インキで印刷しています。



EMS Accreditation
RE014



EMS Registration
JUSE-EG-048

ISO14001:2004認証取得

本社、浜松工場、東松山工場、
熊谷工場、豊橋工場、
株式会社アーレスティ栃木、
株式会社アーレスティ熊本



OS Accreditation
R008



OS Registration
JUSE-RA-053
JUSE-RA-057

ISO9001:2000認証取得

JUSE-RA-053
本社(但し、商品営業部を除く)、
浜松工場(但し、北米支援室を除く)、東松山工場、
豊橋工場、熊谷工場、マグネシウム事業部、
株式会社アーレスティ栃木(製造担当)、
株式会社アーレスティ熊本(製造担当)

JUSE-RA-057
商品営業部及び関連組織